



宮城県立名取支援学校

学校だより

令和4年4月8日

Vol. 1

小学部 17名 名取が丘校 25名

中学部 44名 高等部 11名

計 217名

「新年度のスタートにあたって」

校長 菅原 信治

高館山の木々も萌黄色になり、美しい草花がうらかな春の日差しに映えています。今年も生気みなぎる春が訪れました。

昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な感染拡大防止対策を講じて参りましたが、学校内においては感染が広がり臨時休業の措置をせざるを得ませんでした。保護者の皆様には、大変ご心配をお掛けいたしました。新型コロナウイルスによる社会活動への影響は今後もしばらく続くかもしれません。学校では継続して感染拡大対策を講じて参りますので、ご家庭におきましてもご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

さて、コロナ禍での学校運営も3年目を迎えます。このコロナ禍は学校現場にさまざまな面で影響を及ぼしていますが、その一つに地域や保護者との関係性の変化があります。新学習指導要領で「社会に開かれた教育課程」と謳われているとおり、これからの学校教育において、地域や保護者との連携・協力は欠かせません。中央教育審議会が2020年10月にまとめた『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(中間まとめ)においても、地域全体で子供たちの成長を支えていく環境を整えていくことや、地域の関係機関と学校との連携・協働を進めて、多様性のあるチームによる学校とすることの必要性が述べられています。影響が長引くと考えられるこのコロナ禍の時代において、地域や保護者と連携した学校マネジメントをどう進めていくべきか、さらに考えていかなければなりません。

このような課題を解決するために本校では「地域と連携した特別支援学校魅力化支援事業(学校運営協議会パイロット事業)」の推進・研究の指定を県教育委員会から受けました。この事業をとおして本校が抱えている課題が一つでも解決につながる糸口になることを期待しています。

また、昨年度の引き続き新しい時代、新しい学習指導要領のもと、社会の変化や時代に対応した教育課程・教育内容を検討し研究・実践してまいります。これから始まる児童生徒一人ひとりのかけがえのない学校生活を、わたしたち教職員は全力でサポートしていきます。保護者の皆様や地域の皆様に信頼していただける学校を目指し、教職員一丸となって努力してゆく決意でございますので、保護者の皆様にも本校教育活動に対するご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

以下、今年度の学校教育目標等を紹介いたします。

1 教育目標

児童生徒一人一人の心身の発達、能力・特性に応じた教育を行い、その可能性の伸長に努め、健康で人間性豊かな人間の育成を目指す。

2 学校経営方針

教育公務員としての崇高な使命を自覚し、絶えず研究と修養に励み、教職員相互の信頼を基盤に、将来の自立と社会参加へ向けた心身共に健やかな児童生徒の育成と、魅力ある学校づくりのために、全力を挙げて職責の遂行に努める。

3 重点努力目標

- (1) 学習指導要領を踏まえた教育課程の検討と実施
- (2) 専門性と指導力の向上と働き方の見直し
- (3) 保護者や地域・関係機関との協力・連携の強化
- (4) 安全・安心な学校づくり

宮城県立名取支援学校

〒981-1242 名取市高館吉田字東真坂6-11

TEL 022(384)6161 学校ホームページアドレス <https://natorisien.myswan.ed.jp>

FAX 022(384)6163 メールアドレス natorisien@od.myswan.ed.jp

宮城県立名取支援学校名取が丘校

〒981-1235 名取市名取が丘6-11-1

TEL 022(399)8714 メールアドレス natorisien-na@od.myswan.ed.jp

FAX 022(399)8814